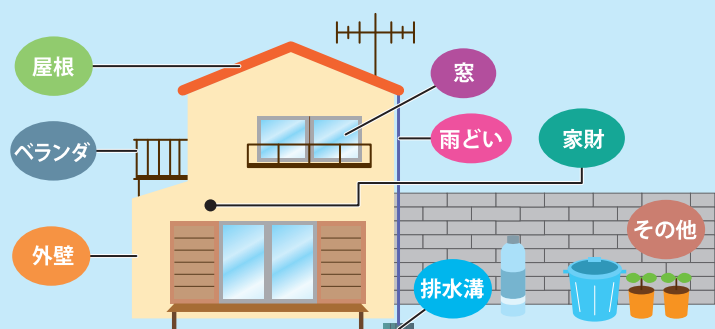


日頃から災害に備えましょう

自分の住んでいる家の状況を確認し、防災対策を行いましょう。

風水害への防災対策

家の周りを確認し、対策を行いましょう



屋根

- アンテナは不安定ではないか。
- トタンがめくれているか。
- 瓦のひび・割れ・はがれがないか。

ベランダ

- 植木鉢や物干し竿など、落下や飛散の危険があるものはないか。

外壁

- 壁に亀裂はないか。

窓

- 窓枠のがたつきはないか。
- 雨戸のがたつきはないか。

雨どい

- 雨どいに落ち葉などが詰まっているか。
- 継ぎ目ははずれや塗装のはがれ、腐りはないか。

排水溝

- 排水溝にごみや土砂が詰まっているか。

家財

- 貴重品などは、すぐに持ち出せるようになっているか。
- 濡れて困るものは、あらかじめ高い場所へ移動しているか。

その他

- 商店などでは看板のぐらつきがないか。
- ごみ箱や植木鉢などは室内に入れるか、飛ばないように固定しているか。
- 庭木には添え木をしているか。
- ブロック塀はくずれそうになっていないか。
- プロパンガスのボンベは鎖でしっかり固定されているか。

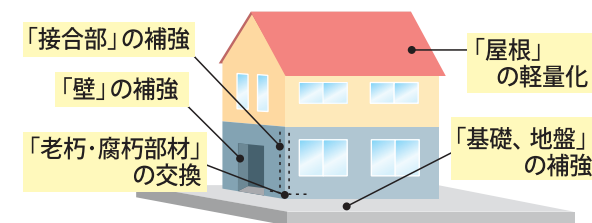
地震への防災対策

住まいの耐震性を確認し、耐震化を検討しましょう

市では簡易耐震診断を無料で実施しています。また、住宅の耐震改修工事や耐震改修計画を策定される方を対象※に、その費用の一部を補助しています。詳しくは市にお問い合わせください。

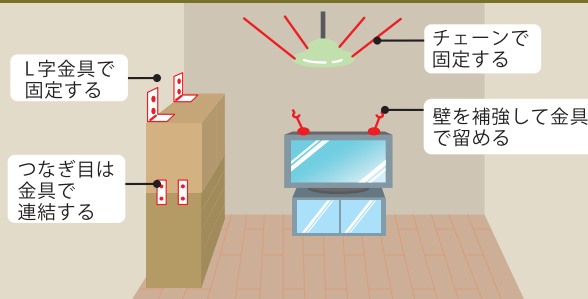
※昭和56年5月31日以前に建てられた住宅が対象

●家屋の耐震化例



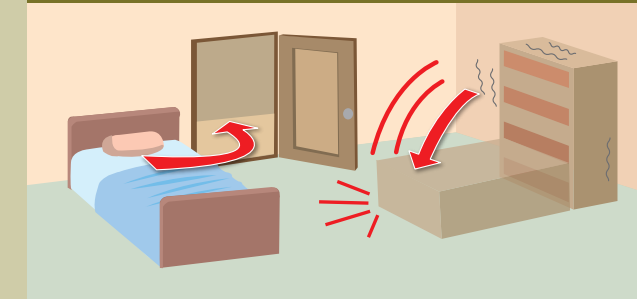
家具の転倒防止・家具の配置に注意しましょう

家具が倒れないように固定しましょう



家具やテレビなどを固定し、転倒や落下を防止する。

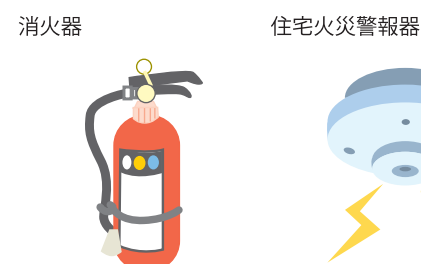
家具の配置に注意しましょう



寝室には倒れそうな家具を置かない。扉をふさぐような配置をしない。

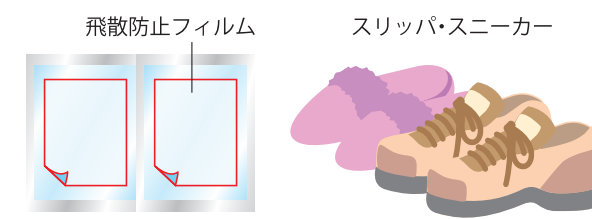
二次災害にも備えましよう

火災への備え



消火器や住宅火災警報器の設置および点検。感震ブレーカーの設置。地震保険への加入。

室内での備え

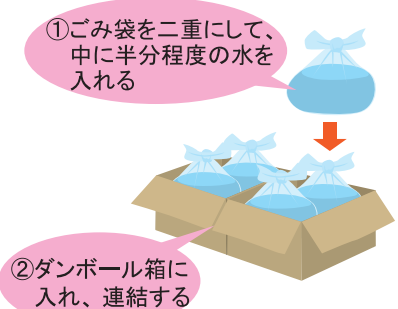


窓ガラスや食器類の破片対策として、飛散防止フィルム、スリッパなどの準備。

いざという時に家庭でできる浸水への対策を知っておきましよう

家庭にあるものを土のうや止水板のかわりに使用することで、浸水を軽減することができます。

【例1】ごみ袋とダンボール



【例2】ポリタンクとレジャーシート



【例3】プランターとレジャーシート

